

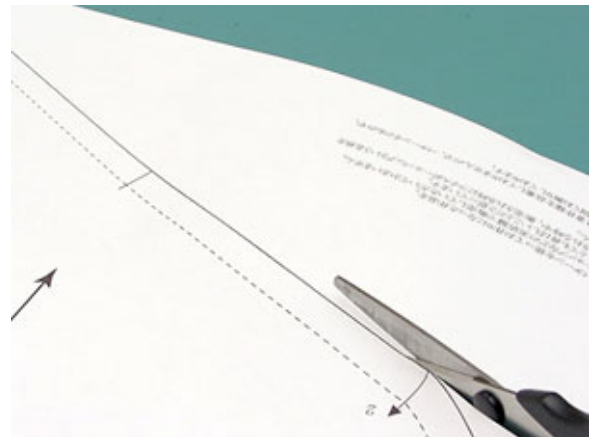
手順



- 1、パターンを切る
- 2、表布を裁断する
- 3、裏布を裁断し、印を入れる
- 4、接着芯を裁断し、貼る
- 5、表布に印を入れる
- 6、裏ポケットをつける
- 7、マグネットボタンをつける
- 8、「バッグ本体&マチ」の表布、裏布を縫い合わせる
- 9、縫い代をアイロンで割る
- 10、2枚の「バッグ本体&マチ」を縫い合わせる
- 11、表にひっくり返して返し口を縫う
- 12、カバン底を作る
- 13、バッグ口にステッチを入れる
- 14、マチにホックを付ける
- 15、持ち手をつける

1、パターンを切る

Peachmadeのパターンにはすでに縫い代が含まれています。実線通りに切ります。



2、表布を裁断する

重要なポイント！

「バッグ本体&マチ」のパターンは左右対称ではありません。よって、裁断時の布の向き（表裏）が非常に重要なポイントになります。下の説明をよくご覧になり、間違いのないように裁断してください。

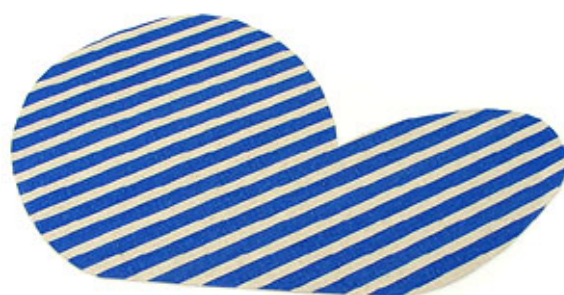
(1) 表布の表面を上にしておき、裁断します。「バッグ本体、マチ」の表布は2枚要ります。2枚とも表面を上にして裁断してください



表布を2枚まとめて裁断したい時、この写真のように布を半分に折って裁断しないでください。下側の布に注目してください。表面が下を向いています。これでは、向きが逆になり使用できません。2枚とも表面を上にして裁断してください。



2枚ともバッグ本体が左側、マチが右側に来ているか、いまいちど確認してください。



この段階ではまだ合印に印は入れません。接着芯を貼ってから、印を入れます。

3、裏布を裁断し、印を入れる

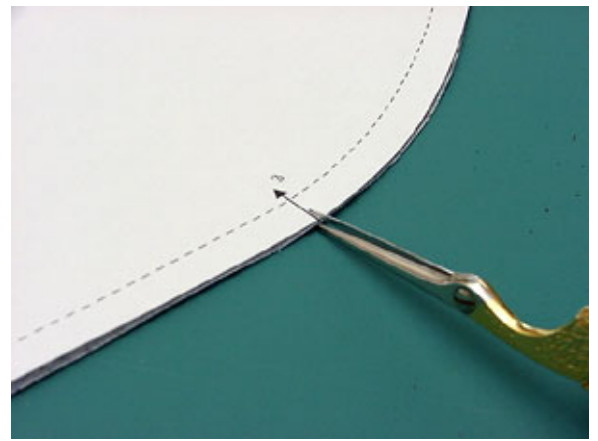
(1) 「バッグ本体&マチ」の裏布は2枚要ります。表布とは全く逆で、布の表面を下、裏面を上にしておき、裁断します。



(2) 合印にノッチ(2~3ミリの切り込み)を入れます。

入れる箇所は、「バッグ本体&マチ」に9箇所、裏ポケットに2箇所にあります。

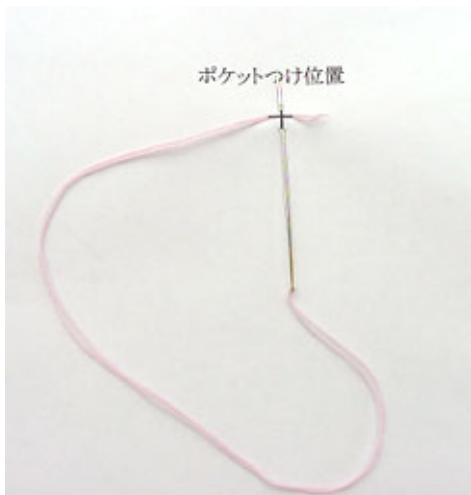
右のマークがある箇所にノッチを入れてください



(3) 糸で印をつけます。「バッグ本体&マチ」に4箇所あります。+の印があるマグネットボタンつけ位置、ポケットつけ位置、合印6番(パターン参照)です。

しつけ糸で+に縫い、糸を短く切り、パターンをはずします。

パターンをはずした後、アイロンで軽くおさえておくと、糸が抜けにくくなります。



裏布2枚共、右の写真のようになっていませんか？
表布とは逆で、バッグ本体が右に、マチが左にあります。



(3) 裏ポケット、底を裁断します。

わの部分は、布を半分に折り、その折り目にそってパターンを置き裁断します。

「バッグ本体、マチ」のように布の表面、裏面を特に意識する必要はありません。



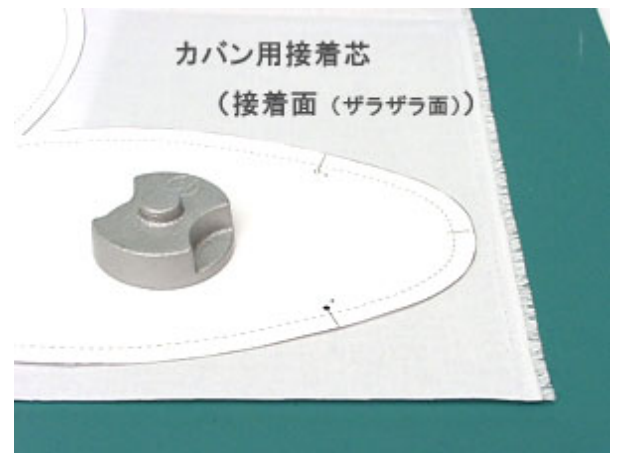
NEXT

4、接着芯を裁断し、貼る

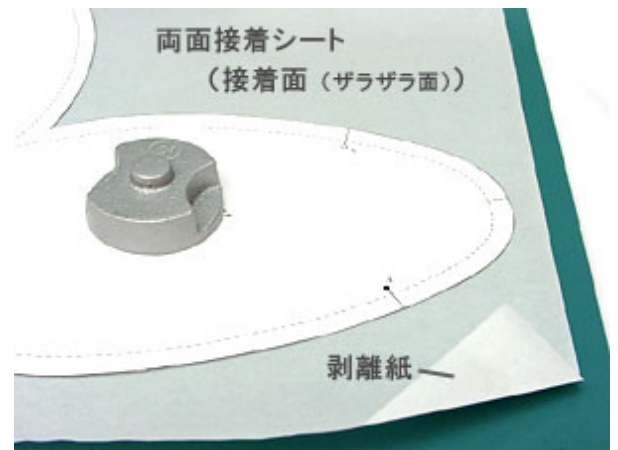
カバン用接着芯を貼る位置は、「バッグ本体&マチ」の表布と、裏布のマグネットボタンつけ位置周辺（詳しくはパターンに記載しています）です。

接着芯は「バッグ本体&マチ」のパターンを使って裁断するのですが、ここでも、接着芯の表面、裏面の向きに気をつけてください。

(1) カバン用接着芯は**接着面（ざらざらした面）**を上にしておいてください。

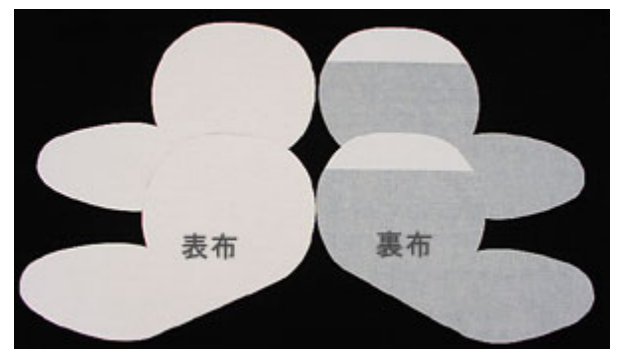


(2) 両面接着シートも**接着面（ざらざらした面）**を上、**剥離紙**を下にしておいて裁断してください。



カバン用接着芯が上手に貼れる場合は、両面接着シートを使う必要はありません（topics 02「接着芯の貼り方のコツ その2」をご参照ください）

(3) 「バッグ本体&マチ」の表布の裏面と、裏布のマグネットボタンつけ位置周辺の裏面に両面接着シートを貼り、その後カバン用接着芯を貼ります。



5、表布に印を入れる

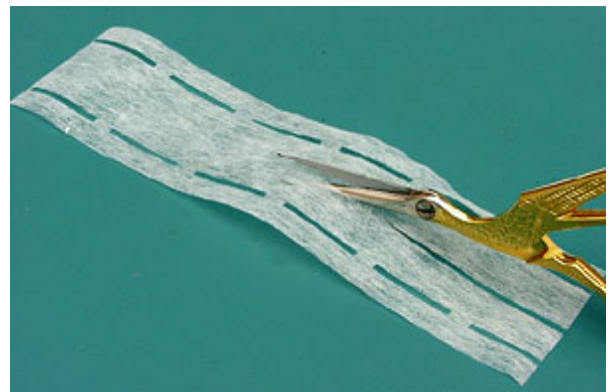
ここでようやく表布の合印に印をいれます。
表布の上に再度パターンを置きます。
ノッチ（2～3ミリの切り込み）を入れる箇所は9箇所、糸で印をつける箇所は1箇所（合印6のみです。）



6、裏ポケットをつける（ポケットは2箇所につけます）

（1）ポケット口を補強するために、ポケット布の裏面にフューズラインテープ（なければ薄手の接着芯）を貼ります。

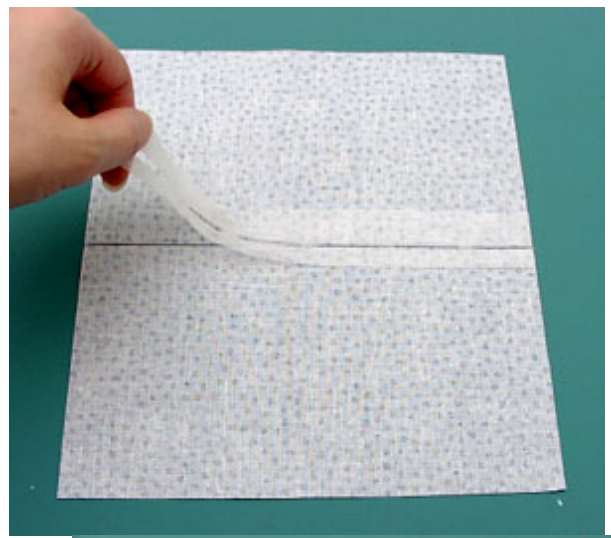
フューズラインテープは半分に切っておきます。（ここでは3cm幅用を使用しましたが、2cm幅用でも3.5cm幅用でもかまいません）



（2）裏ポケットの合印を中心にして半分に折り、アイロンで軽く折り目つけます。



（3）この折り目の上に、フューズラインテープのスリット（穴）が来るように合わせておきます。
ここではご説明しやすいように、折り目に黒いラインを引きました。

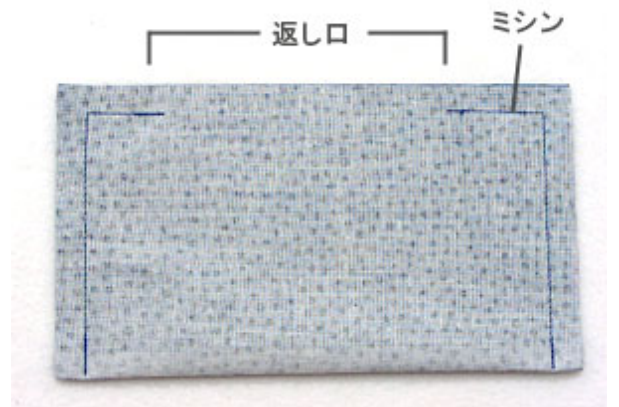


(4) アイロンで貼りあわせませす。

もう一枚の裏ポケットには、(1)で半分に切ったもう1枚のフューズラインテープを貼ります。



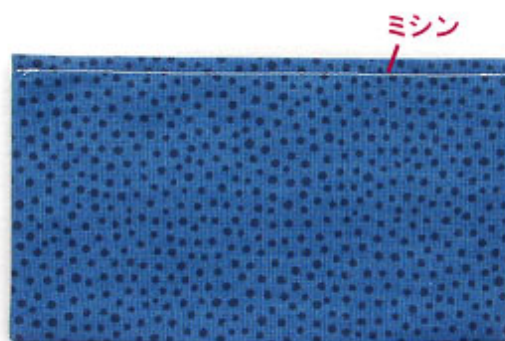
(5) 「わ」を中心にして中表に合わせて、端から1センチのところを縫います。(約10センチの返し口は縫わずに残しておきます)



(6) 角をハサミで切り落とし、返し口から表に戻します。目打ちで角を押し出し、角が直角になるようにします。その後、アイロンで形を整えます。



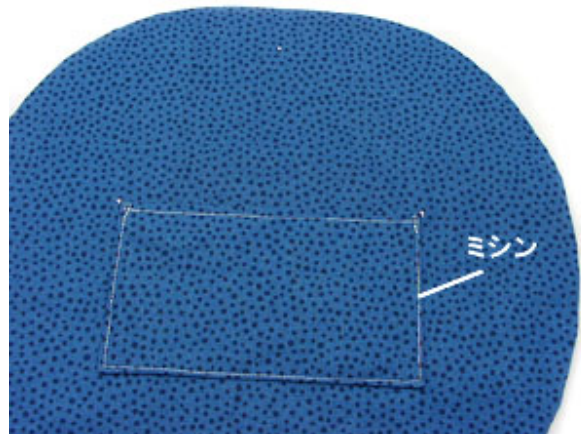
(7) 裏ポケットの口(裏にフーズラインテープを貼ったところ)にステッチをかけます。



BACK

NEXT

(8) バッグ本体(裏布)のポケットつけ位置の印に合わせて裏ポケットを縫い付けます。



7、マグネットボタンをつける

バッグ本体(裏布)にマグネットボタンを取り付けます。
取り付け方はtopics05「マグネットボタンの取り付け方」をご参照ください。

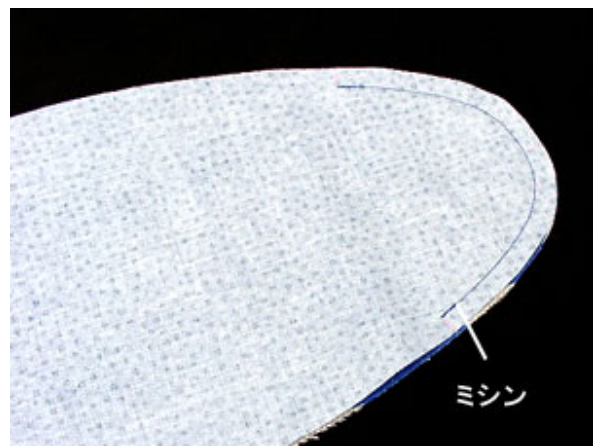
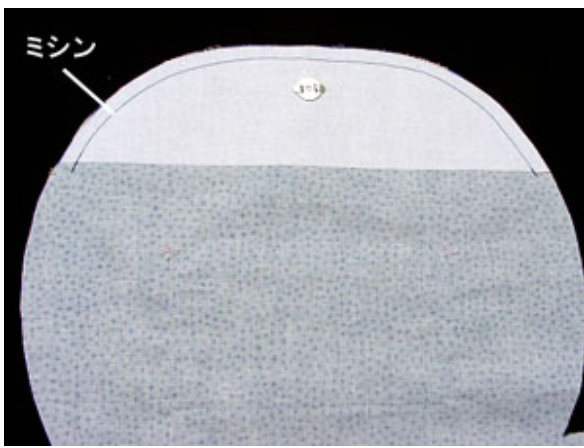


8、「バッグ本体&マチ」の表布、裏布を縫い合わせる

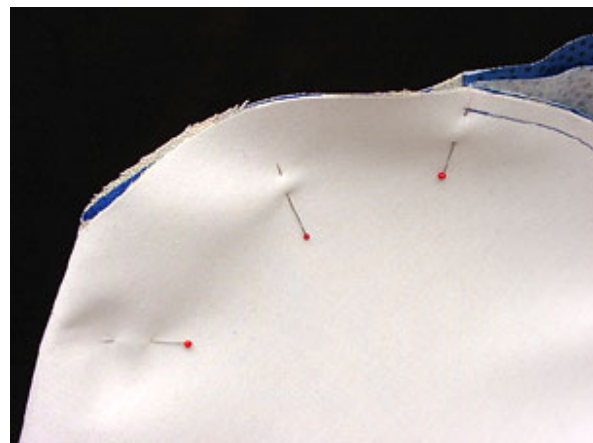
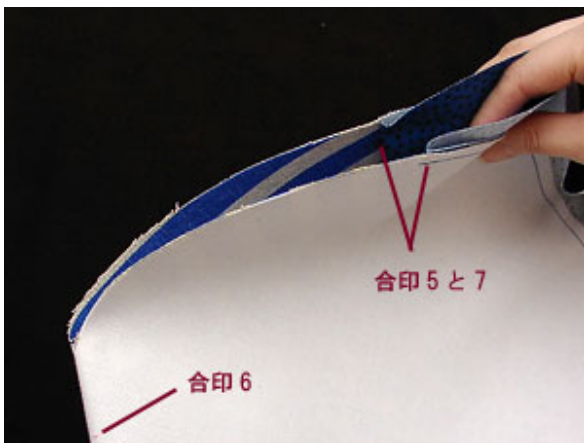
(1) 中表に合わせて、合印1~7と合印5~4を縫います(端から1センチのところを縫う)

ポイント! 縫い始めと縫い終わりはしっかりと返し縫いをしてください!





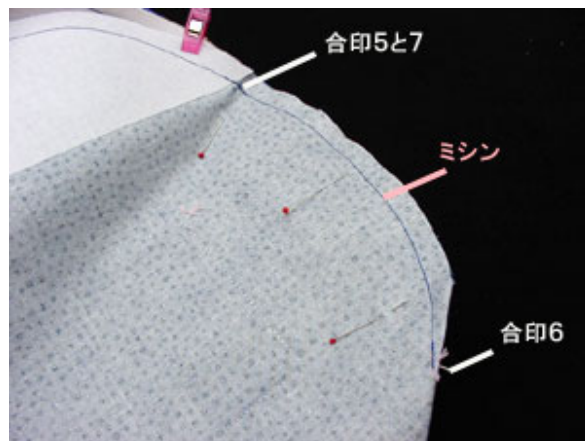
(2) 次に、表布の合印5と合印7を合わせて、マチ針でとめます。
裏布はよけておきます。



(3) 合印6～合印5,7を縫います。
縫い始めと縫い終わりはしっかりと返し縫いをしてください！

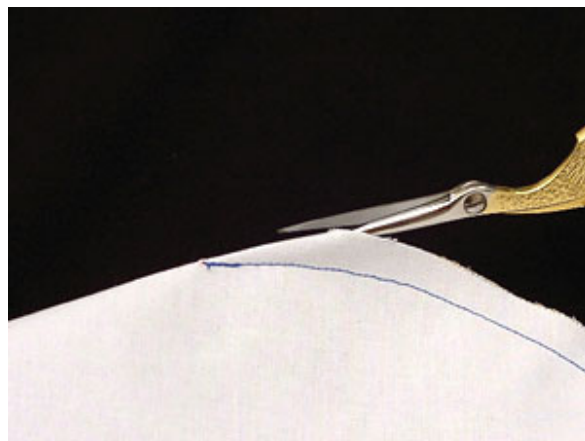


(4) 次に裏布を縫います。
裏布も上の(3)と同じように、合印6~合印5,7を縫います。



(5) 表布、裏布ともに、合印6の先にハサミを入れ、縫い目の3ミリ手前まで切ります。

縫い代を割るためです。



(6) もう1枚の「バッグ本体&マチ」も上の(1)~(5)と同じ手順で縫います。

9、縫い代をアイロンで割る

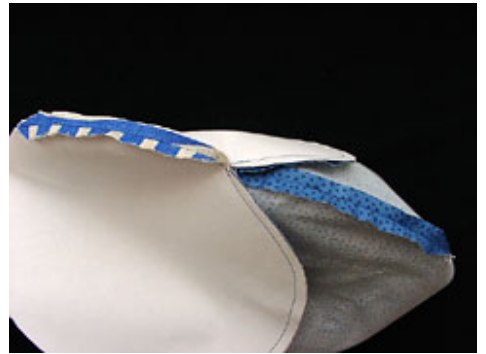
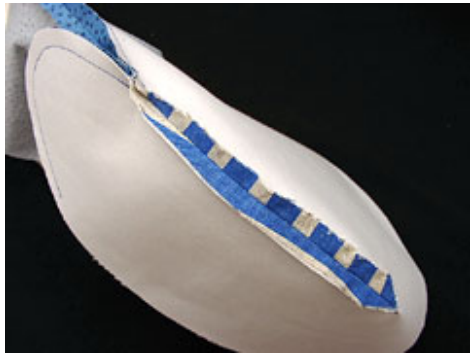
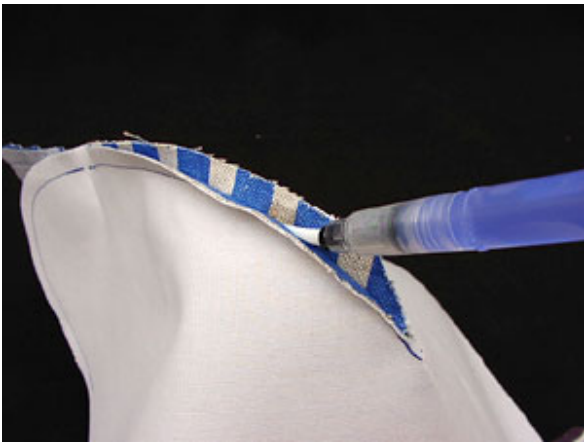
8の(3)(4)で縫った、合印6~5,7の縫い代を割ります。

カーブしていますので、テーラーボードや袖万などを使うと綺麗に縫い代が割れます。



- (1) ここでは袖万(写真、一番手前)を使いました。バッグの丸みに袖万の先の丸みを合わせます。
- (2) 水を含ませた筆で縫い代をなぞりアイロンをあてます。(topics06「仕立ての技」参照)

スチームでやけどをする可能性がありますので、スチームは出さないでください。



[BACK](#)

[NEXT](#)

10、2枚の「バッグ本体&マチ」を縫い合わせる

- (1) まず表布を中表にしてあわせませす。(裏布はよけておきます)
- (2) 合印1と4の間にある合印2と3とその間の計3箇所の合印をしっかりと合わせてください。
- (3) 合印1~4を縫います。

マチ針の代わりにクリップも便利です。



- (4) 縫い代をアイロンで割ります。ここでも袖万などを使うと、割りやすいです。



(5) 次に裏布を中表に合わせて、合印1~2と、合印3~4を縫います。

返し口を作るため、合印2~3の間は縫いません。



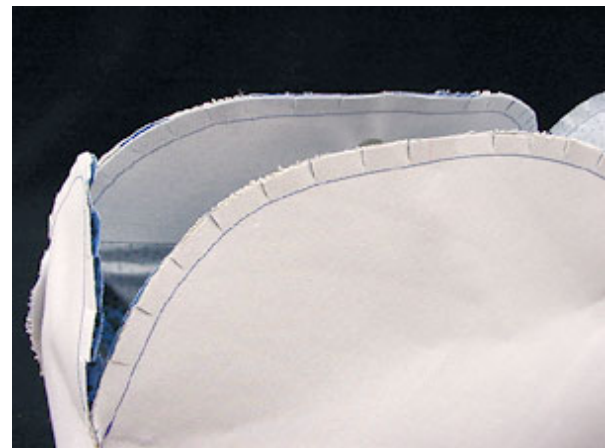
(6) アイロンで縫い代を割ります。合印2~3の間も布端1センチで折っておきます。



11、表にひっくり返して返し口を縫う

(1) 合印1から7、合印5から4の縫い代に1.5センチぐらいの間隔で切り込みを入れます。表に返した時に縫い代が収まりやすくなります。

切り込みは縫い目から3ミリほど手前まで入れます。

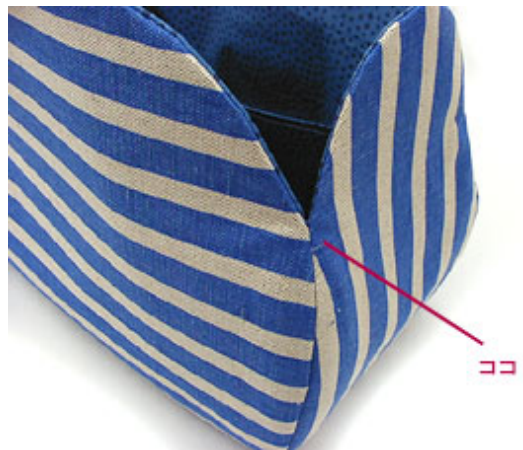


(2) 返し口から表にひっくり返します。



(3) アイロンで形を整えます。

バッグ口の谷の部分にもしっかりとアイロンをあてて、縫い代を落ち着かせておきます。
後でステッチを入れる際に、縫いやすくなります。

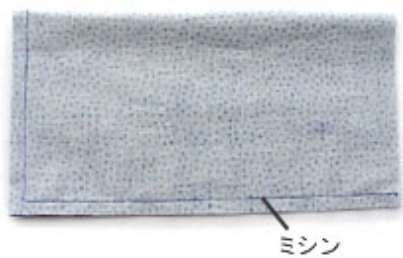


(4) 裏布の返し口を縫います。



12、カバン底を作る

- (1) 「わ」を中心にして、中表になるように半分に折り、A辺、B辺（パターン参照）を縫います。
- (2) 表に戻してアイロンで形を整えて、カバン用底板（底板のサイズはパターン参照）を入れます。
- (3) 縫い代を内側に折り、口をミシンで縫って閉じます。
- (4) バッグの底に敷きます。



BACK

NEXT

13、バッグ口にステッチを入れる

谷の部分が少し難しいかもしれませんが、出来るだけ布が平らになるように押さえながら縫い進んでください。

谷の部分には細かく返し縫いをするか、かんぬき止めで補強します。



14、マチにホックをつける

マチにホックをつけます。ホックの取り付け方はtopics15「ホックの打ち方」をご覧ください。



マチに折り返しがちょうど蓋になるようなポケットをつけても可愛いと思います。

お好みで・・・リボン仕様にしても

マチにリボンを縫い付けます。口が大きくあくので、リボンをほどかなくても、荷物の出し入れが出来ます。また、マチを内側に倒すと、形が崩れやすくなるのは難点ですが、荷物が外から丸見えになるのを防ぐことができます。

参考：30センチのリボンを2本使いました。



15、持ち手をつける

パターンには1.5センチ幅用の持ち手の参考つけ位置を記載しています。

(1) パターンを出来上がり線で切ります。バッグの中心と合わせて、クリップでとめます。

(2) パターンの上から、スクリーポンチでカシメの位置に穴をあけます。

いきなり穴を開けるのが心配な方は、パターンのカシメ位置にスクリーポンチであらかじめ穴をあけておき、ペンなどでカシメ位置に印をつけてから、パターンを外して、スクリーポンチで穴をあけてください。



(3) 持ち手をつけて完成です



底から見るとこんな感じです。表布に2種類の違う布を使うと個性的なバッグになります。色々アレンジしてみてくださいね



「ライスボールバッグの作り方」に記載している内容は、Peachmadeオリジナルの作り方であって、この方法が一般的であるとは限りません。